

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【公表番号】特表2016-538771(P2016-538771A)

【公表日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-526370(P2016-526370)

【国際特許分類】

H 04 L 9/08 (2006.01)

H 04 W 92/18 (2009.01)

H 04 W 12/04 (2009.01)

H 04 M 3/42 (2006.01)

【F I】

H 04 L 9/00 601B

H 04 W 92/18

H 04 W 12/04

H 04 M 3/42 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月4日(2017.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Proximity Services (ProSe) をサポートする第1のUE (ユーザ機器) と、
前記ProSeをサポートする第2のUEと、

PC3インターフェースを介して前記第1のUEと通信する第1のProSe Functionと、
前記PC3インターフェースを介して前記第2のUEと通信する第2のProSe Functionと、

前記PC3インターフェースを介して前記第2のUEと通信する第2のProSe Functionと、
PC2インターフェースを介して前記第1のProSe Function及び前記第2のProSe Functionと通信するProSeアプリケーションサーバと、を備え、

前記第1のUEは、セキュリティ構成要素を得るため、前記第1のProSe Functionに第1の信号を送り、

前記第1のUEは、前記第1のProSe Functionからセキュリティ鍵の情報を含む第2の信号を受信し、

前記第2のUEは、前記セキュリティ構成要素を得るため、前記第2のProSe Functionに第3の信号を送り、

前記第2のUEは、前記第2のProSe Functionから前記セキュリティ鍵の情報を含む第4の信号を受信する、
移動通信システム。

【請求項2】

前記第1のProSe Functionは、前記第1の信号に応答して、サーバに要求を送り、応答し、前記第2のProSe Functionは、前記第3の信号に応答

して、前記サーバに要求を送り、応答する、請求項1に記載の移動通信システム。

【請求項3】

Proximity Services (ProSe)をサポートする第1のUE (ユーザ機器)と、前記ProSeをサポートする第2のUEと、ProSeアプリケーションサーバと、を含む、移動通信システム内のProSe Functionであって、

PC3インタフェースを介して前記第1のUEと通信し、セキュリティ構成要素を得るため、前記第1のUEから第1の信号を受信し、前記第1のUEにセキュリティ鍵の情報を含む第2の信号を送信する第1のProSe Functionと、

前記PC3インタフェースを介して前記第2のUEと通信し、セキュリティ構成要素を得るため、前記第2のUEから第3の信号を受信し、前記第2のUEに前記セキュリティ鍵の情報を含む第4の信号を送信する第2のProSe Functionと、を有するProSe Function。

【請求項4】

前記第1のProSe Functionは、前記第1の信号に応答して、サーバに要求を送り、応答し、前記第2のProSe Functionは、前記第3の信号に応答して、前記サーバに要求を送り、応答する、請求項3に記載のProSe Function。

【請求項5】

Proximity Services (ProSe)のone-to-one通信のための移動通信システム内の前記ProSeをサポートするUE (ユーザ機器)であって、

前記ProSeをサポートするもう1つのUEに直接通信要求を送る送信部と、前記ProSeをサポートし、前記直接通信要求に基づき秘密鍵と完全鍵を生成する制御部とを有し、

前記秘密鍵と前記完全鍵とを用いてPC5インタフェースを介して前記もう1つのUEとProSe one-to-one通信を行う、UE。

【請求項6】

前記もう1つのUEは、前記直接通信要求に基づき前記秘密鍵と前記完全鍵を生成する、請求項5に記載のUE。

【請求項7】

Proximity Services (ProSe)をサポートする第1のUE (ユーザ機器)と、前記ProSeをサポートする第2のUEと、PC3インタフェースを介して前記第1のUEと通信する第1のProSe Functionと、前記PC3インタフェースを介して前記第2のUEと通信する第2のProSe Functionと、PC2インタフェースを介して前記第1のProSe Function及び前記第2のProSe Functionと通信するProSeアプリケーションサーバと、を含む移動通信システムの通信方法であって、

前記第1のUEは、セキュリティ構成要素を得るため、前記第1のProSe Functionに第1の信号を送り、

前記第1のUEは、前記第1のProSe Functionからセキュリティ鍵の情報を含む第2の信号を受信し、

前記第2のUEは、前記セキュリティ構成要素を得るため、前記第2のProSe Functionに第3の信号を送り、

前記第2のUEは、前記第2のProSe Functionから前記セキュリティ鍵の情報を含む第4の信号を受信する、

移動通信システムの通信方法。

【請求項8】

前記第1のProSe Functionは、前記第1の信号に応答して、サーバに要求を送り、応答し、前記第2のProSe Functionは、前記第3の信号に応答して、前記サーバに要求を送り、応答する、

請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

Proximity Services (ProSe) をサポートする第1のUE (ユーザ機器) と、前記ProSeをサポートする第2のUEと、ProSeアプリケーションサーバと、を含む、移動通信システム内の第1のProSe Functionと第2のProSe FunctionとからなるProSe Functionの通信方法であって、

前記第1のProSe Functionは、PC3インターフェースを介して前記第1のUEと通信し、セキュリティ構成要素を得るために、前記第1のUEから第1の信号を受信し、前記第1のUEにセキュリティ鍵の情報を含む第2の信号を送信し、

前記第2のProSe Functionは、前記PC3インターフェースを介して前記第2のUEと通信し、セキュリティ構成要素を得るために、前記第2のUEから第3の信号を受信し、前記第2のUEに前記セキュリティ鍵の情報を含む第4の信号を送信する、

ProSe Functionの通信方法。

【請求項 10】

前記第1のProSe Functionは、前記第1の信号に応答して、サーバに要求を送り、応答し、前記第2のProSe Functionは、前記第3の信号に応答して、前記サーバに要求を送り、応答する、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

Proximity Services (ProSe) のone-to-one通信のための移動通信システム内の前記ProSeをサポートするUE (ユーザ機器) の通信方法であって、

前記ProSeをサポートするもう1つのUEに直接通信要求を送信し、

前記ProSeをサポートし、

前記直接通信要求に基づき秘密鍵と完全鍵を生成し、

前記秘密鍵と前記完全鍵とを用いてPC5インターフェースを介して前記もう1つのUEとProSe one-to-one通信を行う、

UE の通信方法。

【請求項 12】

前記もう1つのUEは、前記直接通信要求に基づき前記秘密鍵と前記完全鍵を生成する、請求項 11 に記載のUE の通信方法。